

平成 26 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 山一電機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 太田 佳孝  
 (コード番号 6941 東証第一部)  
 問合せ先 取締役兼上席執行役員経理部長 加藤 勝市  
 (電話 03-3734-0171)

特別損失の計上および平成26年3月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）において、下記内容の特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。また、平成26年2月7日付にて公表いたしました平成26年3月期の通期業績予想値と本日公表の実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

下記のとおり、平成26年3月期第4四半期において特別損失144百万円を計上いたします。

(1) 特別退職金 83百万円

当社グループは平成25年3月期より構造改革に取り組んでおりますが、その結果として海外子会社において、現地の労働契約法等に基づく特別退職金83百万円を特別損失に計上いたします。

(2) 減損損失 61百万円

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、海外子会社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、減損損失61百万円を特別損失に計上いたします。

2. 平成26年3月期通期業績予想値と実績値との差異について

(1) 平成26年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,500	670	1,050	820	35.21
実績値 (B)	21,778	806	1,292	970	41.65
増減額 (B - A)	278	136	242	150	—————
増減率 (%)	1.3	20.4	23.1	18.3	—————
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	19,962	△1,242	△810	△3,139	△134.82

(2) 差異の理由

売上高は想定どおりの結果でありましたが、利益につきましては、前述の特別損失の計上があったものの、構造改革による各事業の損益改善および為替換算上の影響などにより、前回業績予想を上回りました。

以 上